



武家の古都・鎌倉ニュース

◆ 鎌倉世界遺産登録推進協議会 ◆

平成21年度総会を開催しました

2009年5月19日(火)、鎌倉商工会議所地下ホールにおいて、鎌倉世界遺産登録推進協議会(以下「推進協議会」という。)の総会が開催されました。

第一部として行われた定期総会では、まず養老孟司会長挨拶の後、出席役員の紹介を行いました。続いて議事に入り、平成20年度事業・決算報告、監査報告、平成21年度事業・予算計画を報告し、承認されました。

今回は、事業報告について、配布資料だけでなく、出席者にわかりやすい報告となるよう、映像を交えての説明でした。会場には、昨年より多くの方々が出席され、参加者から「県民、国民及び世界の人々に対して、PRとあるが、どんなことを具体的に考えているのか」と質問が飛ぶなど、世界遺産登録推進に対する関心の高さが伺える総会となりました。

質問に対しても、奴田不二夫登録推進事業部会長、内海恒雄広報部会長から、「今後、国際会議を通しての広報活動やマップの英語版作成などに取り組んでいく。」と説明がされ、世界を意識した取り組みの姿勢



挨拶に立つ養老会長

が感じられました。

最後に、副会長である石渡徳一鎌倉市長が挨拶に立ち、第一部を終了、第二部では、事務局から世界遺産登録に関わる現在の準備状況が報告されました。

第五十一回 鎌倉まつり 「鎌倉の世界遺産 登録をめざして」

4月12日からの一週間、鎌倉の春恒例、鎌倉市観光協会主催による第五十一回鎌倉まつりが開催されました。今年も「鎌倉の世界遺産登録をめざして」がメインテーマとなり、推進協議会も共催して次の行事に参加しました。

4月12日(日)に若宮大路で行われたパレードには、「鎌倉は世界遺産登録をめざしています」と書かれた京急バス「りんどう号」を先導に、奴田不二夫事業部会長を囲んで、甲冑姿のフランス大使館の方や、県立鎌倉高校の生徒も加わり、まさに国籍を超えてのパレードとなりました。沿道では「武家の古都・鎌倉MAP」の配布も行われました。

4月18日(土)には、「もっと知ろう、世界遺産講演会」第2弾として、清水眞澄成城大学学長をお迎えして「鎌倉大仏の歴史的意義」が行われました(3Pに講演要旨を掲載)。当日は同じ会場で、鎌倉市青少年指導員連絡協議会

が実施した「世界遺産登録推進 中学生作文コンクール」最優秀賞の岩瀬中学校 池田朱里さんの「世界遺産を鎌倉に！私の提案」の発表や県立鎌倉高校の「かまくら学」の研究成果の「隠れた遺産「切通」と「宗教都市」としての鎌倉」の発表があり、世界遺産についての若い人の理解がよく示されていました。また、鎌倉市文化財課の福田誠さんの講演「鎌倉大仏の謎」も行われました(2Pに講演要旨を掲載)。多くの方にメッセージを伝えることのできた一週間でした。

